



特集

でかいナスが 三豊に大きな力を

大きくまるまるとした三豊ナス。味よし、色よし、形よしの逸品です。近年、テレビやラジオなど多くのメディアに取り上げられて、脚光を浴びています。

高校

表紙

今月の市民力

伝統野菜の魅力を発信し続ける「三豊ナス研究会」。8月には高知県から来た親子24人に収穫体験や三豊ナスを使った料理をふるまい、参加者と交流しました。栽培が難しい作物のため、手を掛けた分だけ作る楽しみが大きく、実ができたときの達成感は言葉にならないようです。三豊ナスが注目を集める今も、食べた人が笑顔になれるようにと、品質向上への追求は日々続いています。



三豊市の人口 ※平成25年10月1日現在 ()内は前月比
 世帯数 23,181 世帯(-3) 総人口 66,805 人(-76) 男 31,843 人(-38) 女 34,962 人(-38) ※香川県人口移動調査による

広報 **みとよ** 11月号 目次
 平成25年 contents

- 3 特集 **でかいナスが三豊に大きな力を**
- 10 **まだ間に合う 瀬戸芸 in 粟島**
- 12 **M's Information みとよ暮らしのおしらせ①**
 成人式 / 人権擁護委員委嘱 / 日本一名誉賞 / 三豊市長選挙・市議会議員選挙立候補予定者説明会 / 財田地区の新しい小学校の校章デザイン募集 / 税務課からのお知らせ
- 14 **みとよHOT ほっとNEWS(ホットニュース)**
- 16 **M's Information みとよ暮らしのおしらせ②**
 がん検診 / 高齢者インフルエンザ予防接種 / 高齢者肺炎球菌予防接種 / 秋の大運動教室 / 国民年金 / さぬき軽トラ市 / 大坊市 / 文化協会文化祭 / 県民手帳・ノート / 幼稚園入園児、保育所入所児募集
- 21 **M's 深読みひろば**
 男女共同参画 / 文化財
- 22 **11月のお知らせ**
 募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェブ情報 / 国際交流協会
- 25 保健・相談
- 26 **ここ笑み通信** ~子育てするなら三豊が一番!~
 ベビーマッサージ教室 / 児童虐待防止月間 / 小児用肺炎球菌ワクチン / ウィズの会 / M's Smile ふおとぎやらしい / 乳幼児健診 など
- 28 みとよ写真帳 / 編集後記



~市ホームページには情報が満載~
Mのみちしるべ
<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>
 三豊市 検索



何十種類もの市民館講座がHPでチェック!

地域にある公民館や図書館、スポーツ施設を皆さん、うまく利用していますか?」どこにあるのかも、どんなことをしているのかも分からない?」と思ったあなた。公共施設には宝がいっぱいあります。例えば、公民館。HPの**学び・スポーツ**をクリックすると、毎月、何十種類もの講座が紹介されています。フィットネス教室や絵画教室、子ども対象の講座や男性向けの料理教室など。学びの秋、スポーツの秋、それぞれの爽りの秋を皆さん楽しんでください。

「学び・スポーツ」のタグをクリック!

※このコーナーでは、三豊市ホームページの活用方法を紹介しています。



▲地域との交流も図りながら研究を進める一方、メディアにも出演し、三豊ナスを猛アピール

ること。いろんな人に教えてもらいながら、露地とハウスでたい肥の量を変えるなど、数パターンを試してきました。

中には枯れてしまうものもあって、原因が分かっても、そこからどうすればいいか分からなかったり、当番を決めて、休みの日も毎日水やりをしに行ったりとたいへんなところはあったけど、大きな実ができたときは、これまでの苦労も吹っ飛びましたね。みんな力を合わせてやってきてよかったと思います。

Q 三豊ナスでジャムを作ったと聞きましたが

A 皮が傷つきやすいので加工品がいいんですけど、肉まんやギョーザの中に入れたりしたんですが、おいしいけどインパクトに欠けたんですよね。ジャムって発案があっ



▲試みと失敗を繰り返しながらジャムの完成を目指す

たけど、最初はみんな「それはないわ」と思っていました。でも作ってみるとおいしくて！それから皮を煮込んで色づけしてみたり、すりつぶしたりと試行錯誤を重ねて、ついに完成しました。調理から瓶詰めまで全工程を自分たちでやっています。自信作なんでぜひ食



▲笠田高校の新鮮市のほか、みとよアンテナショップ「みとよ商店」などでも販売

べてほしいです。

Q 生産者と一緒にイベントも開催したんですよね

A もっと知ってもらうために市内の大型量販店でナスとジャムの試食・販売会を企画しました。地元で普及活動をしている生産者の皆さんと協力することで、より多くの人たちにPRできると考えて「三豊ナス研究会」の皆さんに声をかけました。快く引き受けてくれ、PR用に作った「伝統野菜三豊茄子研究班」のロゴ入りポロシャツも一緒に着てくれて、一丸となって取り組むことができました。

生産者の皆さんは、三豊ナスにかける熱意がすごいです。教えてもらったこともいっぱいあるし、不安要素をすべて解決してくれる頼もしい存在です。教わるだけでなく、わたしたちの研究成果も聞いてくれました。わたしたちよりいっぱい知識や経験はあるのに、



▲伝統野菜を通して、地域を想う笑顔が三豊の活力に



今でしょ！ 笠高パワー全開でPR

伝統野菜が地域に 新たな活力を生む

昔から多くの家庭で食卓にならんでいた三豊ナス。以前は、出荷には向かないデリケートな野菜と言われていましたが、栽培技術の進歩などにより、現在では関東・関西方面へも出荷され、全国から注目を集めています。三豊で愛され続けている三豊ナスを全国の人たちに食べてもらいたいとさまざまな動きが活発化しています。

笠田高校では、今年度初めて三豊ナスの栽培研究を始めました。担当したのは農産科学科野菜部の3年生8人。栽培のほか、三豊ナスのゆるキャラを募集したり、加工品の開発、生産者と試食・販売会を開くなど、多くの取り組みを企画しています。また、家庭科の生徒は、ゆるキャラの着ぐるみやマスコットの製作に携わっています。

今回は、三豊ナスの普及や知名度向上を図るために、

若い力と発想で日々奮闘している笠田高校の生徒や、三豊ナスを愛する地元生産者の皆さんを、農産科学科の高橋さんがレポートしました。

Interview 01

笠田高校農産科学科野菜部



河田はづきさん(3年)



笠高レポーター
農産科学科野菜部
高橋美穂さん(3年)



片山喜夫さん(3年)

苦労も吹き飛ば おいしさが 三豊ナスにあり

Q 初めての試験栽培ではどんな苦労がありましたか

A まず、三豊ナス自体が

聞いたことあるくらいやっついで、研究するって言うのも、一からのスタートで知らんことだらけやから、どうしようという不安が大きかったですね。研究の目的は、良質な三豊ナスを作

三好由乃さん／丸山朋美さん／増田美由紀さん／合田美咲さん



▲学んだ技術を地元のために活かしたいと話す2年生

Q 着ぐるみの製作が始まりましたがいかがですか
A 製作にかかる前に、ゆるキャラのデザインを立体的にイメージするのがたいへんでしたね。それに、人が中に入っているような動きが出せるようにしないといかんし、けど、なすキング

Interview 02 笠田高校家庭科家庭クラブ

のキャラクターイメージは崩したらいかんで、みんないろいろと相談しました。

Q 製作はどのように進めていく予定ですか
A いきなり着ぐるみを作るのは難しいので、最初に30cmくらいのミニチュアを作りました。それで生地の色やバランスなんかを確認しました。今は王冠や靴などのパーツを作っているところです。

Q 着ぐるみ製作のポイントは何ですか
A まずは、中に入る人の動きがスムーズにできるようにすること。あとは軽く蒸れにくくしたいなと思ってます。

Q お披露目はいつ頃の予定ですか
A 11月9日(土)に開催する学校祭の一般開放日に

ピタリですね。全国に強いインパクトを



お披露目できればと、急ピッチで作っています。

Q 着ぐるみ以外にも製作中のものがあると聞きました
A なすキングのマスコットを作っていますよ。これは3年生が中心になって作ってくれています。1000体くらい作って、学校祭で販売する予定です。

Q 完成に向けて意気込みをお願いします
A なすキングを初めて見たとき、かわいいなって思いました。着ぐるみができると、皆さんに見てもらったときに同じように感じてもらえるように、学んだ技術を活かして頑張りたいです。完成したなすキングが全

にピッタリですね。全国に強いインパクトを



◀多くの壁を乗り越えられたのは、強い結束力のたまものと語る2人は

それでも情報収集を怠らず取り組んでいる姿勢は見習いたいですね。このイベントもポスター作りなど、一からの企画で不安もあったけど、多くの人に来てもらって、生の声がいっぱい聞けて、今後に向けてすごく勉強になりました。

高校生ならではのPRをやってみたい

Q 高校生が地元の伝統野菜のゆるキャラを募集することは珍しいのでは
A 三豊ナスを食べたときにすごくおいしかったんですよ。その反面、なん

この魅力いっぱい三豊ナスを高校生ならではのPRしようと考えたんです。

テレビなんかに出るときは、三豊ナスだけよりもやっぱりゆるキャラと一緒にいるとインパクトが強いと思って、募集することに決めました。応募してくる人は市内の人だけかと思ってたけど、全国各地から356点も応募があって、驚きとうれしさでいっぱいでしたね。「なすキング」ってネーミングは三豊ナス



Q なすキングは今後、どのような活躍をしますか
A 着ぐるみやマスコットでPRしたり、ジャム用のラベルに登場します。

これから三豊ナスを販売する時のパッケージにも登場させたいなと思ってます。

なすキングは市外や県外へもどんどん連れて行ってほしいです。「みとよん」とのコラボも見てみたい。自信を持って出せるキャラクターが出来たと思っと思っています。三豊ナスとゆるキャラ「なすキング」で全国に強いインパクトを与えられたらうれしいですね。

Q 今後の抱負を聞かせてください
A 今年度はPRに力を注いでもったところがあるかもしれないけど、テレビ



やラジオで取り上げてもらって、今までよりも三豊ナスを知ってもらったり、興味を持ってくれた人が増えたと思います。自分たちは卒業するんで、2年生にバトンタッチをする時が来ました。それに向けてしっかりと土台作りを8人で力を合わせてやっていきたいです。今年度

次は、ゆるキャラの着ぐるみを作っている家庭科へGo!



Interview 03

みごと最優秀に選ばれたゆるキャラ「なすキング」のデザイナー近藤さんに突撃レポート!

地元貢献が一番の喜びです



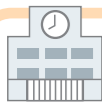
大阪府 近藤 香織さん (詫間町出身)

ゆるキャラを募集していることは、インターネットで知りました。夕飯にナス料理をしようと思って、なんかいいレシピないかなと調べてたら、偶然目にしたんです(笑)。デザイナーの仕事をしていて、高校生が募集するってすごいなと思ったし、ふるさと三豊がしているなら応募しました。三豊ナス独特の王様のようなかっぶくのをよさを出したくて、デザイン、ネーミングに取り入れました。選んでもらい、ゆるキャラとして地元で貢献できるというのが、一番うれしいですね。今後が楽しみです。

国で活躍する姿を早く見てみたいですね。わたしたちは日ごろファッションだけでなく、食についても学んでいるんで、三豊ナスを使ったレシピもいっぱい考えて、全国に発信するお手伝いができたらうれしいです。

なすキングのマスコット! バッグや携帯電話に付けるとほんとかわいいです☆

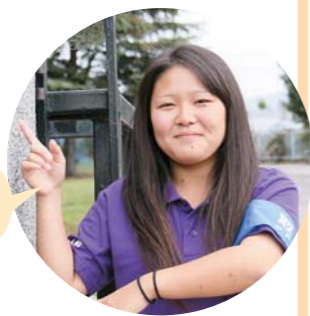




イベント盛りだくさん!

笠高祭

皆さんの来場をお待ちしてま〜す★



日時 11月9日(土)
午前9時~午後1時30分

内容 農業科と家庭科の日ごろの学習内容や学習成果を展示・発表するほか、生徒たちが栽培した農産物や加工品を販売します。
・農産物即売会(みそ・野菜・花・苗など)
・バザー(うどん、おすしなど)
※手作りみその引換券は、午前8時15分から配付します
▶問い合わせ 笠田高校 ☎62-3345



三豊ナスを求め市外からも

三豊ナスのここがいい!

- ・甘くてきめが細やかでおいしいです。他の品種のナスは家にもあるんですが、三豊ナスが子どもたちも大好きですね。今日は三豊ナスを買うために産直市へ来ました。(まんのう町/女性)
- ・子どもの頃から食べていました。田楽や漬け物にするのにおいしいです。みずみずしくて自然のやさしさがありますね。(山本町出身・高松市/神原淳さん)
- ・少し遠いですが、三豊に来てよく三豊ナスを購入します。皮の柔らかさが違いますね。兄弟が大阪にいますので、送ったりするんですが、とても喜んでくれますよ。(観音寺市/小西千代子さん)
- ・アクが少なく食べやすいからみんな喜んで食べています。県外にいる親族と地元のおいしい物を送りあうやけど、三豊ナスもよく入れて、三豊をPRしていますよ。(三豊市/女性)

Interview 04

人気急上昇中の三豊ナス 実は、家庭菜園の定番作物でした!

昔は市場には 出回らなかった

栽培農家の
篠丸 篤さん(69)と
恵子さん(65)に
インタビュー



三豊ナスは小さい頃から家で作って食べよったなあ。味は最高やけど、収穫量が少なく、栽培も難しいからほとんど市場には出回っていません。10年ほど前に産直市で立派な三豊ナスを見かけたんですよ。産直へ出すほど生産できるのって目を疑いましたね。それで、その生産者を産直で待って、後を追っかけてましたよ(笑)。

挑戦し続ける 熱い情熱

すぐにはうまくいかず、胸を張って出せるようになるのに4年くらいかかった。けど、こんだけおいしい

競い合い 協力しながら全国へ

広めていくには、やはり量が必要です。魅力いっぱい三豊ナスを多くの人に食べてもらいたいので、自分たちがやってきたことはどんどん伝えていきます。みんなで競い合いながら、協力し合いながらやっていけたらええなあ。

Interview 05

先人から伝わる伝承作物を次世代へ

三豊ナスを市のブランド商品として育て、地域農業の振興を図ることを目的に平成22年に発足した「三豊ナス研究会」。栽培技術の向上と栽培面積の拡大に努めてきた研究会の2人に、今後の抱負を語っていただきました。笠田高校の若い力と協力し合って、全国へ発信するために大きなパワーを引き起こしています。



副会長 堀江 博さん(66)



事務局長 三浦 稔さん(68)

合併して市になっても「三豊」を知らないとか読めないという話をよく耳にしていたんです。発足の目的に三豊ナスの普及がありますが、三豊市をもっと知ってもらうために「三豊」が付く伝統野菜の三豊ナスを広めようじゃないかと考えたんですよ。市とナスの両方を全国へ発信しようと財田町を中心に32戸の農家が集まって、約1・3畝を栽培しています。発足当時、販売を目的に作っていた農家は少なく、中には初めて栽培する人もいました。栽培技術を普及センターなどに教えてもらいながら品質向上に奮闘しましたよ。

今知名度アップと販路開拓のために販売イベントに参加したり、スーパーやデパートに売ってもらうために、人に食べてもらうために、仲間を増やして生産量を拡大したいですね。ふるさとの野菜を守り伝え、三豊ナス、そして三豊市の魅力を発信するために、私たちは進んでいきたいと思っています。



味はおいしく
形は愛らしい
三豊ナス

三豊ナスの歴史は、昭和初期に朝鮮半島に出向いていた三豊の農家が種を持ち帰ったのが始まりと言われています。ピカピカの光沢にコロコロとしたかわいい形の三豊

伝統野菜の
新たな
二豊
ナスを
ブランドに

厳しい栽培技術

おいしく、インパクトもある三豊ナスですが、一般のナスに比べて収穫までの期間が長く、収穫量も1/2程度で大量生産、安定供給が難しい作物です。また、鮮度が落ちやすく、皮が薄く傷つきやすいデリケートな野菜のため、遠方への出荷には向かず、これまで家庭菜園として作られてきました。

しかし今、全国の人たちに三豊ナスのおいしさを知ってもらいたいという熱い思いで、栽培技術の向上などに取り組み始めた人たちがたくさんいます。そして、三豊ナスの認知度は日々高まってきています。